

科目名	公務員養成論演習	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学科	□必修	■選択
英文表記	Training Science II for Government Officials	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年		
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中		
ふりがな	いしかわ たけいち	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	石川 竹一	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	ロシアのウクライナへの侵略とウクライナ国民の殺戮、イスラエルのパレスチナ住民殺戮は、各国の公務員という職業の本質と社会における公務員の機能を鮮明に表している。各国は国力と国を取り巻く環境に即した防衛力を備え、外交により平和を守り、この土台の上で、産業を振興し、科学技術を発展させ、福祉を増進し、安定した社会を維持している。この枠組みを維持するために、公務員選抜の仕組みがある。				
到達目標	公務員という職業と機能を理解し、社会と公務員と自己との関連を認識し、自己啓発への道を開発し、自己体験する。				
授業概要	社会の役に立つ公務員養成の科学の全てを深く掘り下げ、学生自身の自己体験を通して、これを身につける。公務員試験に合格する実力を涵養すれば、民間上場企業総合職試験合格にも繋がる。就職試験の標準たる公務員試験学習を行うことは、民間上場企業総合職試験合格の近道である。				
授業計画					
第1回	人間力・思考力・学力と公務員養成戦略演習				
第2回	公務員養成技法演習				
第3回	公務員養成のための基礎学力演習				
第4回	公務員試験（専門試験と教養試験）の変遷と本質を見つめながらの演習				
第5回	公務員選抜のための択一試験演習				
第6回	公務員選抜のための記述試験演習				
第7回	公務員選抜のための面接試験演習				
第8回	公務員試験対策のための学習場所・教材選・学習法演習				
第9回	公務員界・金融界・スポーツ経営界・国際ビジネス界の間の職業移動と模擬体験、練習問題				
第10回	変動する社会と公務員制度と機能演習				
第11回	公務員の人気度と試験の難易度理解、練習問題				
第12回	公務員の職務と経済学との繋がり理解、練習問題				
第13回	公務員の身分保障理解、練習問題				
第14回	公務員の基礎的資質（繋ぐ・詰める・尽くす）体験、練習問題				
第15回	公務員としての笑顔力・前提力・共感力・傾聴力体験、練習問題				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	総合科目群の数的推理、判断推理、基礎数学を受講し、良い成績を取ることが公務員試験合格には必要。英語ⅠⅡⅢ、自然科学概論、文章の読み方、小論文の書き方も有効、経済学部学生にとっては、学科間履修により、憲法・行政法・民法・社会政策・政治学・行政学の受講が公務員試験対策としては有効であり、法学部学生にとっては、マクロ経済学・ミクロ経済学の受講が有効である。数学ⅠA・数学ⅡB・理科・社会科教科書、基礎英文法問題精講（中原道喜）、数的処理1・2（畑中敦子）、判断推理（畑中敦子）、入門経済学（井堀利宏）、現代法学入門（伊藤正巳・加藤一郎）				
履修条件受講のルール	毎週学習実績表を提出。授業中の私語は論外。				
テキスト	授業中に公務員試験過去問を解いて、自己採点して、授業の最後に提出				
参考文献・資料	全ての公務員試験過去問				
成績評価の方法	週間レポート提出60%、戦略ノート10%、授業討議10%、試験10%、平常点10% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることはできない。				
オフィスアワー	金曜日11時 - 12時30分、13時 - 14時30分				
成績評価基準	秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）				

実務経験及び実務を活かした授業内容	国家公務員 15 年間勤務後、国際公務員として国連条約機関本部に 26 年間勤務（12 年間は事務次長）、数々の国際選挙・世界各国との政府間交渉・国際会議運営・国際機関の人事・管理・条約交渉などに従事。国家及び国際公務員試験（学力試験・論文試験・面接）の試験担当者。
学生へのメッセージ	ノースアジア大学生のみが受講のチャンスがある門外不出の公務員養成の科学、パートⅡ。図書館学習の重要性。